

2007  
6月号

# 広報 みはま



織田神社例祭(佐田)での獅子舞奉納

## TOPICS

- 第19回美浜・五木ひろしまラソンを開催
- 美浜町環境基本計画を策定
- 子育て支援センターがスタート
- 美浜発電所の状況
- エコクル美方公害関係測定結果

No.437

平成19年5月23日発行

潮風とともに2,922人が海岸線コースを快走！

第19回

# 美浜・五木ひろしマラソン



5月13日(日)に、本町出身で名誉町民の五木ひろしさんを招いて、第19回美浜・五木ひろしマラソンが丹生特設会場から佐田の海岸線コース(日本陸連公認)で開催されました。大会には、北は北海道、南は九州・沖縄から2,922人のランナーが集まり、1.5km・3km・5km・10km・20kmの全16部門で競技が行われました。ランナーたちは、五月晴れのもと、青い海を見下ろし、潮の香りを肌で感じながら、風光明媚な海岸線コースで健脚を競っていました。



今回は2位でくやしかったけど、今回はベストを出せて優勝できました。中学生の部にもぜひ参加したいです。

小学生女子の部  
優勝



伴場 怜菜さん  
(兵庫県)

息子にはまだまだ負けん！  
親子の部に出場しました。坂がきつかったけど、最後まであきらめずにがんばれました。今度はお父さんに勝ちたいなあ。



田辺 卓二さん・憲虎さん  
(坂尻)



町内をはじめ、全国各地から大会に参加されたランナーの皆さんにインタビューしてみました。

気軽にマラソンを楽しめる大会ですので、全国の支社から集まって毎年参加しています。今回は約120人です。みんな今度はいつかと楽しみにしていますよ。

毎回、参加メンバーが増えてます！



全国各地の三菱電機の皆さん

マラソン初挑戦で、10kmに出場しました。有森さんと一緒に走れて、折り返しではハイタッチもしてくれました！

有森さんと一緒に走りました



藤田 啓介さん・塚 岳伸さん  
福三田 延子さん・坂上 陽子さん  
(京都府)

## 第19回 美浜・五木ひろしまラソン記録 (敬称略)

部門	出走者数(人)	優勝者	タイム(時・分・秒)
20km一般男子	530	藤田 淳 (和歌山県)	1:09:41
20km一般女子	51	市川恵美子 (兵庫県)	1:26:35
10km一般男子	651	小松弘一郎 (愛知県)	0:35:56
10km一般女子	144	西本智子 (滋賀県)	0:36:59
5km29歳以下男子	134	古川優樹 (兵庫県)	0:16:49
5km30歳代男子	156	野添利博 (美浜町)	0:17:40
5km40歳以上男子	340	南藤宏和 (奈良県)	0:17:14
5km29歳以下女子	36	直下典子 (石川県)	0:19:59
5km30歳以上女子	108	塚本和美 (滋賀県)	0:19:09
3km50歳以上男子	109	井上光弘 (東京都)	0:11:18
3km一般女子	123	藤田美智子 (美浜町)	0:13:55
3km中学男子	77	平崎祐大 (和歌山県)	0:11:27
3km中学女子	21	林 菜々 (京都府)	0:12:21
1.5km小学生男子	37	永濱寿章 (敦賀市)	0:05:32
1.5km小学生女子	32	伴場怜菜 (兵庫県)	0:05:27
1.5km親子	373 (187組)		



有森さんは10kmの部に参加されました。

また、大会のゲストとして、本町出身で美浜ハートフル大使の山口良治さん(京都府立伏見工業高校ラグビー部総監督)や有森裕子さん(オリンピック女子マラソンメダリスト)のほか、女優の貫地谷しほりさんが参加し、ランナーだけでなく、会場に集まった大勢の観客も大会を楽しんでいました。

たすきで手をつなぎながら伴走者と一緒に完走することができました。こんなに気持ちのいい潮風はここでしか感じられませぬ。青い海や空、緑の山々、とてもさわやかな気分になりました。



潮の香りを体で感じながら完走  
(左から) 伊藤 亜紀子さん(兵庫県)・田代まどかさん  
伊藤 知我子さん・福田 有里さん(大阪府)

定年になってからマラソンを始めました。この大会は、きれいな景色が楽しめるアップダウンがよいですね。ぜひ第20回も参加したいです。



84歳で第1回大会から全大会出場  
小川 保さん(あわら市)

丹生の民宿に長年お世話になっていて、子どもが参加できる年になったので参加してみました。やっぱり海がきれいで、食べ物がおいしいですね。これから友達を連れて毎年参加したいです。



よく遊びに来ています  
土田 香さん  
岡村 夏代さん・土田 風香さん  
(京都府)

みんなで一緒に参加すると楽しいですよ。時には励まし合い、時にはライバルです。町にこんなにぎやかな大会があつてうれしいです。



美浜中学校からも多くの生徒が出場  
美浜中学校の皆さん(※男子の一部)

たくさんボランティア  
スタッフに支えられています



県内外から多くのランナーや観客が集まるこの大会は、さまざまな場所で活躍するたくさんの方のボランティアスタッフによって支えられています。今回の大会でも、約800人のスタッフがそれぞれの持ち場で役割を果たし、大会の成功を支えました。



●ゴールで計測チップを回収された  
美浜ジュニアリーダーズ  
クラブの皆さん  
自分から進んでランナーに声をかけるなど、この大会でいろいろな経験ができました。「ありがとう」って言われるとやっぱりうれしいですね。



大会スタッフ

多くのランナーや観客が集まるこの大会を、さまざまな場所で支えたボランティアスタッフの皆さんにインタビューしてみました。

●コース内でランナーの応急処置を行う自転車救命隊として活躍されたREM(嶺南エマージェンシーメッセージャー)の皆さん  
3回目の参加となった今大会でも、県内外から25人の隊員が出動しました。  
AEDを自転車に積んでコース内を巡回しましたが、筋肉痛や軽い外傷の手当てのみで、幸いAEDを使う事態は発生しませんでした。  
大きな事故なく大会を終えることができてよかったです。



# 五木ひろしふるさとコンサート



マラソン大会前日の12日には、「五木ひろしふるさとコンサート」が総合体育館で開催されました。  
五木さんは新曲「ゆめかぜ」や数々のヒット曲など18曲を熱唱し、県内外から集まった約1,300人の観衆を魅了しました。



また、歌の合間には、マラソン大会にも参加したゲストがステージに登場し、五木さんとのトークやヒット曲「ふるさと」の合唱などで会場を盛り上げました。



●会場でお茶を配られた  
美浜町女性の会・丹生婦人会・はまかせ保育園の皆さん  
今日は天気がよく暑かったので、走り終えたランナーの皆さんによるこんでもらえました。  
全国から多くの人が集まってきたのでいいですね。



●参加賞のTシャツを配られた  
大同 左希子さん(河原市)  
多くの人で混雑しましたが、気持ちのよい対応に努めました。  
ランナーの皆さんを見ていると応援したくなりますね。



●会場の駐車場整理をされた  
藤田 俊一さん(菅浜)

遠くから車で来てくれたお客さんがスムーズに事故なく運転できるように努めています。  
このマラソンは、めずらしいコースで印象に残る大会ですので、町のPRにもいいですね。



●第1回大会から大会アナウンスを務められている  
良峯 あい子さん(三国町)  
五木さんの大ファンで、大会アナウンス係を志願しました。  
会場の皆さんにわかりやすいアナウンスを心掛けています。

美浜の豊かな自然環境を次の世代に引き継ぐために

## 美浜町環境基本計画を策定

### 自然環境の変化

美浜町は、海・川・湖・山のある美しい自然環境に恵まれており、中でも三方五湖は、貴重な動植物の生息地として平成17年にラムサール条約に基づく湿地に登録されるなど、その豊かな自然環境は国際的にも認められています。

しかし、地球規模では、近年の経済成長に伴う生活様式の変化により、ごみの増大、環境汚染などのさまざまな問題を引き起こしています。また、これらの問題は、さまざまな原因が複雑に絡み合うことで発生しています。

### 環境を守るために

このことから、国では、平成5年に環境基本法を制定し、国、県、市町村で環境保全に取り組む必要性を示しています。

町においても、美しい自然環境を保全し、次の世代に引き継いでいくためには、現状を把握し将来のめざすべき姿に向かって、町民・事業者・行政がそれぞれの役割と責

任を明確化し、一体となって取り組むための総合的かつ長期的な計画が必要となります。

### 計画策定にあたり

町では、計画の策定にあたり、町内の関連団体の代表や有識者によって構成する「美浜町環境基本計画策定委員会」（委員長・服部勇福井大学教授）を昨年9月に設置し、町の現状や皆さんからいただいたアンケート結果などを踏まえて、調査と協議を進めてきました。

### 計画の位置付け

この計画は、「第四次美浜町総合振興計画」に基本目標として掲げている「美しい自然と共生するまち」を実現することを目的に、今年度から平成28年度までの10年間を実施期間としています。

また、その間の社会情勢の変化に対応しながら、目標の点検、計画の見直しを行い、環境保全に関する総合的、長期的な計画として各種施策に取り組んでいきます。

5月2日に行われた同計画の答申にあたっての、  
服部委員長と山口町長との対談の内容の一部を  
ご紹介します。

#### ●服部委員長

計画の策定にあたっては、町が  
有する豊かな自然環境をいかに保  
全するかを大きなテーマとしまし  
た。また、廃棄物や環境汚染など  
の人為的な問題の原因究明、対策  
を検討しました。

町外に住む私から見ても、美浜  
町はとても自然環境が優れていま  
すので、環境を守り、持続させて  
いくかを念頭に置きました。

#### ●服部委員長

エネルギーと環境は表裏一体で  
あるため、両方を同時に学ぶこと  
が重要です。

現代の子どもたちは、自然とふれ  
あう機会が少なくなっています。

幸い、豊かな自然が残っている  
美浜では、自然の中に入った環境  
教育ができます。子どもたちの環  
境教育を通じて、大人も学び、共  
に取り組めればと思います。

#### ●山口町長

町では、自然を活用して農業や  
漁業、ボート競技を体験する「若  
狭美浜はあとふる体験」を進めて  
います。これも自然環境のすばら  
しきや大切さを実感することがで  
き、環境保全にもつながると考え  
ていますので、これからも進めて  
いきたいと思っています。

#### ●服部委員長

交流人口が増えることは、ごみ  
の増大など環境悪化につながるお  
それがあります。環境問題は一人ひ  
とりの意識から成り立つものです。  
美しい場所は汚したくない気持  
ちになる。また、逆のことも言え  
るのではないのでしょうか。守りた  
くなる自然の大切さを感じていた  
だきたいと思っています。

#### ●山口町長

町民の皆さんと話し合う「ハー  
トフル対話」では、今年も環境問  
題が大きなテーマの1つになると  
考えています。

この計画について、皆さんと考  
え取り組んでいきたいと思っています。

#### ●服部委員長

海川・湖・山などの豊かな自然は、  
町に与えられた大切な財産です。  
住民や事業者、行政が時間をか  
けて着実にパートナーシップを築  
き、取り組んでいただきたいと思  
います。

●山口町長  
今回策定された計画を、  
町全体で取り組む体制作り  
が重要であると考えていま  
す。昨年度からスタートし  
た第四次総合振興計画と併  
せながら進めていきたいと  
思います。



計画の答申内容について山口町長と語る服部委員長(左)



計画策定委員会・副委員長

中西 和彦さん(早瀬)  
(五湖と自然を守る会会長)

今回の計画策定にあたり、委員  
として新たに町の環境の現状を知  
り、考えることができました。

不法投棄の防止や環境汚染など  
の問題を根本的に解決するため  
は、防止策だけではなく「人づく  
り」つまり環境教育が重要である  
と感じました。

自然から離れつつある子どもた  
ち、そして私たち大人も周りにあ  
る自然の状況、その大切さを知り  
関心を持つことが大切です。

環境を守ることが難しく  
感じますが、まず第1歩は環境を  
汚さない努力からです。

今回、策定された環境基本計画  
は、それぞれの立場や所属を越え  
て、みんなで環境問題に取り組む  
ことが大きなテーマになっていま  
す。

この計画を基にみんなで環境を  
守る大きな輪を作り、それぞれが  
環境を考えるきっかけになればと  
思います。

# 美浜町環境基本計画の体系

〈環境未来像〉 10年後に実現をめざす環境の姿

自然かがやき 人いきいき まちがにぎわう <sup>うま</sup> 美し美浜

〈計画の基本的な方針〉

● **みはまの地域環境の保全・創出**  
海・川・湖・山などの自然環境や歴史資源を保全・創出し、生き物と共生するまちをつくっていきます。

● **環境にやさしい、みはまづくり**  
環境を大切にする人材を育ていきます。

● **みはまの循環型社会の形成**  
ごみゼロの循環型のまちづくりに取り組みます。健全な水循環が行われる社会を形成していきます。

● **みはまの生活環境の保全**  
**地球環境の保全**  
みんなで生活環境の保全・改善に取り組めます。

〈町内で取り組んでいく施策〉

- ① 三方五湖をはじめとする水辺環境の保全・創出
- ② 森林・里山・里地・里川の保全
- ③ 動植物との共生
- ④ 自然景観の保全・創出
- ⑤ まち中の緑化の推進
- ⑥ 歴史文化の保全・継承

- ① 住民意識の高揚
- ② 環境学習の推進
- ③ 環境活動の推進
- ④ 環境NPOの育成

- ① ごみ排出量の削減
- ② ごみ分別の徹底
- ③ リサイクル製品の利用促進
- ④ ボイ捨て・不法投棄の防止
- ⑤ 水資源の有効利用

- ① 環境汚染の発生防止
- ② 自然エネルギーの導入促進
- ③ 省エネルギーの促進
- ④ 環境美化の推進

〈地域別の環境保全方針〉

・北西郷地域  
ラムサール条約に登録された三方五湖の水環境や常神半島の緑環境を守り育てていきます。

・南西郷地域  
ラムサール条約に登録された三方五湖の自然豊かな環境を守り育てるとともに、自然とのふれあいの場を創出していきます。

・耳地域  
地域の歴史資源や自然環境を保全・創出していきます。

・山東地域  
美しい海岸を守るために、人と自然と原子力が共存していきます。

## 今後の計画

### ① 推進体制の整備

この計画は、町民、事業者、行政が協働することが重要であることから、それぞれの立場で取り組むための組織づくりを進めます。

また、町全体で審議するための美浜町環境保全審議会を設置します。

### ② 環境基本条例の制定

計画の方針や体制をさらに明確化するために町民、事業所、行政の責任と役割、審議会など各種組織の目的や内容を定めた条例を制定します。

※お問い合わせ先 町住民安全課(担当・田辺) ☎32-6703

## まず自分ができるところから始めてみる

〈美浜くらしの研究サークル〉



美浜くらしの研究サークル  
代表 石丸 清美さん(山上)

私たちもいろいろな研究をとおりして環境保全活動に取り組んでいます。会員だけの活動には限界があります。

町はもとより地球規模で環境問題が深刻化する現代において、本当に必要なのは「一人の100歩より、100人の1歩」なので

一人ひとりが今できることを始めるだけでも、町全体では、大きな環境保全の取り組みにつながります。簡単にできる小さな1歩をみんなで踏み出しませんか？

私たちのサークルは、現在12人の会員で、暮らしに関わるさまざまな問題を研究し、取り組んでいます。

環境問題においても、町がペトボトルの分別収集を始める以前から町民の皆さんに呼びかけ自主的に回収を行ったほか、ごみ分別の細分化を考え、行政と協力して実現してきました。現在は、食用油の回収や生ごみの分別収集の強化に取り組む、皆さんに呼びかけています。

環境問題に取り組むことは、難しいように感じられますが、自分ができることから始めればよいのではないのでしょうか。

他の人がしているから、していないからではなく、自らの考えで取り組むことが大切だと思います。



子どもたちに牛乳パックを使った再生はがきづくりを指導する会員の皆さん

## 自然とふれあい、その大切さを学ぶ

〈美浜北小学校〉

美浜北小学校では、学校のすぐ近くに久々子湖があることから、シジミ採りやバードウォッチングなど自然とふれあう学習を実施するとともに、全学年で湖の浄化活動にも取り組んでいます。

これまで行ってきた湖岸の清掃活動に加えて、平成15年から水をきれいにする作用があるEM(有用微生物群)を使った団子や発酵液による久々子湖の浄化活動を続けています。



EM団子作り



湖岸の清掃活動

このほかにも、児童たちは湖の環境やEMについての研究発表を行ったり、水質調査を独自に実施しています。

湖全体ではまだ大きな変化はありませんが、団子を投げ入れた箇所がきれいになるなど児童たちは自分たちの活動に手ごたえを感じているようです。

同校では、今後も自然とふれあいながら、湖の環境保全に取り組んでいく予定です。